

情報公開文書

1. 研究の名称

勤務医における労働・自己研鑽・ケア労働の時間と性別分業意識の関連分析

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究実施責任者 京都大学大学院医学研究科消化管外科学 教授 小濱和貴

4. 研究の目的・意義

2023年の世界経済フォーラムのジェンダーギャップレポートによると、日本の順位は146か国中125位で、特に経済と政治のスコアが低くなっています。この現状は、女性医師が管理職や指導的立場につくことが極めて少ない状況と合致しています。

一方で女性医師の増加に従い、妊娠や出産を機に退職する「女性医師問題」が医師不足の一因とも言われるようになりました。そこで女性医師支援の必要性が謳われ、様々な「女性医師支援策」が実施されたものの、旧来の育児支援や勤務時間短縮を主とした女性医師支援では指導的立場の女性医師を増やすには至っていません。また、育児支援を受けている女性医師とそれ以外の医師の労働条件の格差拡大による分断も生じています。そのため、ジェンダー・ステレオタイプの理解なしには「女性医師問題」を解決できないと我々は考えています。性別によってケア責任が偏ったまま労働時間を短くしても、男性の家庭でのケア分担増加につながるとは限りません。社会生活基本調査の解析によると、男性の就労時間とケア時間には有意な相関がみられず、就労時間が短くてもケア時間は延長しなかったと報告されています。本研究では、労働時間及び自己研鑽の時間を把握し、回答者の属性や社会的な背景とケア労働への関与および性別分業に関する意識との関連性を検討し、真に有用な「女性医師支援策」の端緒とすることを目的としています。

5. 研究実施期間

機関の長の実施許可日（2023年12月7日）から2024年12月6日の間

6. 対象となる情報の取得期間

2024年1月9日から2024年2月28日の間

7. 情報の利用目的・利用方法

この研究は、労働時間や自己研鑽の時間とケアに関わる時間を調査し、性別分業に関する意識と関連するかどうかを検証することを主な目的としています。

エムスリー株式会社よりアンケート参加の依頼メールを会員に配信し、参加を希望した会員のみアンケートに回答していただきます。研究者はエムスリー株式会社で匿名化されたデータの供与を受けます。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

下記項目について、ウェブ上で勤務医を対象としたアンケートを実施します。

・ 回答者の性別、年齢、勤務形態、産前・産後休業、育児休業、介護休業など取得中か否か、世帯年収、婚姻状況、配偶者の職業、子どもの有無、末子の年齢、など

・ 平日及び休日の平均的な時間配分（平均労働時間、通勤時間、自己研鑽のための時間、学会や論文など学術活動時間、余暇時間、家事・育児時間、睡眠時間、そのほかの時間）

・ 性別分業などジェンダーに関する意識

9. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

1) 研究実施責任者

京都大学大学院医学研究科消化管外科学 教授 小濱和貴

2) 副研究実施責任者

京都大学大学院医学研究科消化管外科学 客員研究員 大越香江

3) 研究分担者

京都大学大学院医学研究科消化管外科学 准教授 肥田侯矢

鳥羽商船高等専門学校 准教授 深見佳代

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 医療疫学分野 教授 山本洋介

京都大学大学院医学研究科消化管外科学 大学院生 所為然

4) プロトコル作成・調査票作成・論文執筆

京都大学大学院医学研究科消化管外科学 准教授 肥田侯矢

京都大学大学院医学研究科消化管外科学 客員研究員 大越香江

鳥羽商船高等専門学校 准教授 深見佳代

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 医療疫学分野 教授 山本洋介

京都大学大学院医学研究科消化管外科学 大学院生 所為然

5) 情報提供・研究協力機関名

エムスリー株式会社

6) 試料・情報の管理について責任を有する者

京都大学大学院医学研究科消化管外科学 客員研究員 大越香江

7) 統計解析担当者

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 医療疫学分野 教授 山本洋介

10. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

本研究においては、研究者には個人情報を除いた無記名アンケート結果（個人関連情報）として提供されます。回答後に本研究に参加したくないと思われた方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

下記担当者にご一報ください。

13. 研究資金・利益相反

この研究は、文部科学省科学研究費補助金 23K11681（大越香江）の資金により実施します。この研究では、エムスリー株式会社よりアンケート配信等の業務およびアンケート回答データの無償提供を受けます。利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

14. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

1) 研究課題ごとの相談窓口

担当者：大越香江

所属：京都大学大学院医学研究科 消化管外科学

連絡先：〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

(Tel) 075-366-7595 (平日 9 時～17 時) (Fax) 075-366-7642

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛

(Tel) 075-753-9301 (E-mail) 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp